

intra-mart X Server Version 5.1.2

リリース・ノート

第 19 版 2016/05/20

1. はじめに

- (1) 弊社では、この本ドキュメントに記載されている『検証済み環境』にて動作確認をおこなっています。
- (2) 弊社の提供するドキュメントに記述の無い全ての事柄は、サポート対象外です。
- (3) 本製品に関する、最新の技術情報やパッチ情報は次のサイトをご覧ください。
intra-mart Developer Support Site : <https://dev.intra-mart.jp/>
- (4) IM-X Server のデザイナー (IM-X Designer) で作成した帳票テンプレートは、日本オプロ社 OPRO X Server 製品のデザイナー (OPRO X Designer) で開くことはできません。また、日本オプロ社 OPRO X Server 製品のデザイナー (OPRO X Designer) で作成したテンプレートを、IM-X Server のデザイナー (IM-X Designer) で開くこともできません。
- (5) スクリプト (ページベース) 開発モデルから呼び出す場合、Java API を使用する方法があります。
Java API のドキュメントについては、「2. ドキュメントリスト」をご覧ください。また、Java クラス呼び出しについては、intra-mart 製品に付属の API リスト[スクリプト開発モデル]-[・その他]-[JAVA クラスの利用]を参考ください。
- (6) サンプルについて
 - ※ [INSTALL_PATH]は、IM-X Server インストールディレクトリを指します。
 - ・ Java API のサンプルは、[INSTALL_PATH]/tools/api/java/sample.java です。
 - ・ Windows API のサンプル (Delphi) は、[INSTALL_PATH]/tools/api/win/delphi/delphi_sample.zip です。
 - ・ Windows API のサンプル (VB) は、[INSTALL_PATH]/tools/api/win/vb/vb_sample.zip です。
 - ・ Windows API のサンプル (VC++) は、[INSTALL_PATH]/tools/api/win/vc++/vc++_sample.zip です。
 - ・ HTTP 連携の場合、デザイナーのオプションメニュー → 「サンプル HTML の作成」から、呼び出し用 HTML のサンプルを作成することができます。
 - ・ IM-X Server Management Service Java API のサンプルは、CD 内 api/sample1.java および sample2.java です。
- (7) 既に IM-X Server 5.0.0 ~ 5.0.14 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、上書きインストールではなく、新規インストールを行ってください。新規インストールの手順については「3. ドキュメントリスト」にあるユーザーガイド・リファレンスをご参照ください。

2. バージョンアップ内容

- (1) IM-X Server 5.1.2 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.4.2 から 2.7.4.3 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (2) IM-X Server 5.1.1 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.4.1 から 2.7.4.2 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (3) IM-X Server 5.1.0 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.21 から 2.7.4.1 にバージョンアップしました。CD の構成を変更しました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (4) IM-X Server 5.0.14 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.19 から 2.7.0.21 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (5) IM-X Server 5.0.13 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.17 から 2.7.0.19 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (6) IM-X Server 5.0.12 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.15 から 2.7.0.17 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (7) IM-X Server 5.0.11 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.8 から 2.7.0.15 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (8) IM-X Server 5.0.10 の更新内容
OPRO X Server が 2.7.0.0 から 2.7.0.8 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (9) IM-X Server 5.0.9 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.45 から 2.7.0.0 にバージョンアップしました。
SAP 連携のデモファイル (oxsms-sap-demo.zip) は削除されました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (10) IM-X Server 5.0.8 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.40 から 2.6.2.45 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (11) IM-X Server 5.0.7 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.32 から 2.6.2.40 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。

- (1 2) IM-X Server 5.0.6 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.20 から 2.6.2.32 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 3) IM-X Server 5.0.5 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.2.0 から 2.6.2.20 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 4) IM-X Server 5.0.4 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.1.6 から 2.6.2.0 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 5) IM-X Server 5.0.3 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.1.0 から 2.6.1.6 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 6) IM-X Server 5.0.2 の更新内容
OPRO X Server が 2.6.0.49 から 2.6.1.0 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 7) IM-X Server 5.0.1 の更新内容
OPRO X Server が 2.5.5.81 から 2.6.0.49 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
- (1 8) IM-X Server Management Service 5.0.4 リリース
OXSMS 2.6.2.2008.10.24 (SAP 連携のデモファイル (oxsms-sap-demo.zip) を含む) をリリースしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。

3. ドキュメントリスト

・IM-X Server / IM-X Designer

- (1) OXS ユーザーガイド・リファレンス (HTML)
CD の最上層にある userguide.html です。セットアップ等の際にご参照ください。
- (2) OXD/OXB ユーザーガイド・ヘルプ (PDF, CHM)
CD 内の、各製品名のフォルダ以下「manual」にあります。
- (3) デザイナーファーストステップ (PDF)
CD 内の、userguide/01_oxd_firststep.pdf です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。
- (4) CGI / サブレット パラメーターリスト (HTML)
CD 内の、reference/parameter_list_ja.html です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。
- (5) Java API ドキュメント
CD 内の、reference/api/java/doc_jp/index.html です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。
- (6) ソフトウェアの更新履歴
CD 内の、releasenote.txt の、「◆3. バージョンアップ履歴」をご覧ください。

・IM-X Server Management Service

- (1) 製品マニュアル (PDF)
CD の最上層にある manual_oxms_ja.pdf です。
- (2) Java API ドキュメント
CD 内の、api/doc_ja.zip および doc_en.zip です。
- (3) ソフトウェアの更新履歴
CD 内の、releasenote.txt の、「◆4. バージョンアップ履歴」をご覧ください。

4. 動作環境

intra-mart X Server V5.1.2 が動作するには、下記が必要です。

- intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x
- intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 7.x
- intra-mart Accel Platform 2012 Winter 以降

但し、IM-X Server Management Service に関しては、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x は未対応となっております。本ドキュメントに記載されていない事項については、intra-mart WebPlatform/AppFramework または intra-mart Accel Platform の同製品のリリース・ノートを参考ください。

(1) IM-X Server

Java 実行環境	JRE 6 以上 (Oracle Java SE JRE 6 が OXS と共にインストールされます。)
Web/AP サーバー	Java Servlet (Servlet 2.2 以上) または CGI をサポートするサーバー
CPU	Intel Pentium 4, 1.0 GHz 相当以上
メモリー	512 MB 以上が必要
ディスク容量	200 MB 以上の空き容量
動作確認済み OS	※ JRE 6 以上が動作する環境がサポート対象となります。動作実績のある OS は、以下のようなものがあります。 Windows 10 Pro (x64) Windows 8.1 Pro (x64) Windows 8 Pro (x64) Windows Server 2012 Standard (x64) Windows 7 Professional (SP1) (x86/x64) Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2) (x86/x64) Windows Vista Business (SP1/SP2) (x86) Windows Server 2003 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2) (x86/x64) Red Hat Enterprise Linux 5/6 Solaris 10

検証済みデータベース	Oracle 8-10g PostgreSQL 7.2-9.0 SQL Server 2005-2012 DB2 UDB 7-8
------------	---

※ サーバーからの直接印刷機能 (Print Service) は、Windows プラットフォームのみの対応となります。

※ CGI は、Windows プラットフォームのみに対応しています。

※ Windows プラットフォーム以外でグラフ生成・画像の透過処理を使用する場合は、X Window 稼働下で IM-X Server を起動する必要があります。(OXS 2.7.0 から追加された Chart コンポーネントを使用してグラフを表示する場合は、GUI 環境は必要ありませんが、server.sh で、OXS 起動オプションとして「-Djava.awt.headless=true」を追加する必要があります。)

※ OXS API for Java は、JRE 1.4.2 以上で動作します。

※ OXS API for Windows を使用する場合は、JRE 1.4.2 以上が必要です。

※ IM-X Server SOAP Interface は、IWP/AFW Ver.7.x の環境で 動作確認を行っています。

(2) IM-X Designer

OS	Windows 10 Pro Windows 8.1 Pro Windows 8 Pro Windows Server 2012 Standard Windows 7 Professional (SP1) Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2) Windows Vista Business (SP1/SP2) Windows Server 2003 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2) Windows XP Home Edition/Professional (SP1/SP2/SP3) すべて x86 向けですが、x64 でも 32-bit モードで使用できます。
CPU	Intel Pentium III 500 MHz 相当以上が必要 (1 GHz 以上を推奨)
メモリー	256 MB 以上が必要
ディスク容量	インストールには 40 MB 以上の空き容量が必要 動作させるには 100 MB 以上の空き容量を推奨

(3) クライアント環境

動作検証済み ウェブブラウザ	Internet Explorer 8、9、10、11 Firefox 33、34 Chrome 38、39 Opera 12、25
-------------------	---

(4) IM-X Server Management Service

サーブレット コンテナ	Servlet 2.4 以上、JSP 1.2 以上をサポートするサーブレットコンテナ
Java 実行環境	JDK 1.4.2 以上
CPU	利用する サーブレットコンテナの推奨値以上
メモリー	利用する サーブレットコンテナの推奨値以上
ディスク容量	10 MB 以上の空き容量 (実行モジュールのサイズ) (保管する履歴の量により、サイジングが必要です)
データベース	Oracle 8 以上 SQL Server 2000 以上 MySQL 5.0 以上 PostgreSQL 7.3 以上 (ファイル I/F 機能を利用する場合は、Oracle, SQL Server または PostgreSQL)
管理画面閲覧環境 (ウェブブラウザ)	Internet Explorer 6.0 以上/Firefox 2.0 以上/Opera 9.0 以上

※ OXSMS API for Java は、JRE 1.4.2 以上で動作します。

5. 著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

OPRO X Server は日本オプロ株式会社の商標または登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

以上

6. 変更履歴

変更年月日	変更内容
2006/11/17	初版
2007/12/11	<p>第 2 版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「Java 実行環境」で、以下の変更を行いました。 (5.0.0) JRE1.4.2_07 が OXS と共にインストールされます ↓ (5.0.1) JRE1.4.2_13 が OXS と共にインストールされます ● IM-X Server の「動作確認済み OS」に、以下が追加されました。 Solaris 9/10、Windows Vista Business ● IM-X Designer の「OS」に、Windows Vista Business が追加されました。 ● IM-X Designer の「OS」で、以下の変更を行いました。 (5.0.0) 但し、Internet Explorer 4.0 以上がインストールされていることが必要。 ↓ (5.0.1) 但し、Internet Explorer 5.5 以上がインストールされていることが必要。
2008/04/25	<p>第 3 版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1.はじめに」で、以下を追加しました。 (8) 既に IM-X Server 5.0.1 が動作している環境にインストールする場合は、OPRO X Server 2.6.1 Update for 2.6.0 をご使用になれます。モジュールの入手については、サポートまでお問い合わせください。 ● IM-X Server の「Java 実行環境」で、以下の変更を行いました。 JRE1.4.1 以上 (JRE1.4.2_13 が OXS と共にインストールされます) ↓ JRE1.4.2 以上 (JRE1.4.2_16 が OXS と共にインストールされます) ● IM-X Server の「ディスク容量」で、以下の変更を行いました。 110 MB 以上の空き容量が必要 ↓ 120 MB 以上の空き容量 ● IM-X Server の「動作確認済み OS」で以下を追加しました。 Red Hat Enterprise Linux 3/4/5 ● IM-X Designer の「OS」で、以下の変更を行いました。 Windows 2000 Professional/Server (SP1 以上) ↓ Windows 2000 Professional/Server (SP4)

2008/09/12	<p>第4版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1.はじめに」で、以下を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> (9) 既に IM-X Server 5.0.2 が動作している環境にインストールする場合は、OXS Patch 2.6.1.6 をご使用になれます。 <p>OXS Patch 2.6.1.6 は、CD 内の、OPRO X Server/patch/oxs_patch_26106/ にあります。適用方法については、このフォルダにある readme.txt をご覧ください。</p> ● 「4.動作環境」で、以下の変更を行いました。 <p>intra-mart X Server V5.0.2 が動作するには、intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 6.0.1(Patch 1)以上が必要です。</p> <p>↓</p> <p>intra-mart X Server V5.0.3 が動作するには、intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 6.x または Version 7.0 が必要です。</p> ● 「4.3 クライアント環境」の「動作検証済みウェブブラウザ」に、Firefox 3.0 が追加されました。
2008/11/07	<p>第5版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1.はじめに」で、以下を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・IM-X Server Management Service JavaAPI のサンプルは、CD 内 api/sample1.java および sample2.java です。 ● 「1.はじめに」の(7)～(9)を、以下に変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> (7) 既に IM-X Server 5.0.0 ～ 5.0.3 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、上書きインストールではなく、新規インストールを行ってください。新規インストールの手順については「3. ドキュメントリスト」にあるリファレンス・マニュアルをご参照ください。 ● 「2.バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> (1) IM-X Server 5.0.4 の更新内容 <p>OPRO X Server が 2.6.1.6 から 2.6.2.0 にバージョンアップしました。</p> <p>更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。</p> (5) IM-X Server Management Service 5.0.4 リリース <p>OXSMS 2.6.2.2008.10.24 (SAP 連携のデモファイル (oxsms-sap-demo.zip) を含む) をリリースしました。</p> <p>更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。</p> ● 「3.ドキュメントリスト」で、「IM-X Server Management Service」を追加しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 「4.動作環境」で、以下の変更を行いました。 intra-mart X Server V5.0.3 が動作するには、intra-mart WebPlatform/ AppFramework Version 6.x または Version 7.0 が必要です。 ↓ intra-mart X Server V5.0.4 が動作するには、intra-mart WebPlatform/ AppFramework Version 6.x または Version 7.0 が必要です。 ● IM-X Server の「Java 実行環境」で以下の変更を行いました。 JRE1.4.2 以上 (JRE1.4.2_16 が OXS と共にインストールされます) ↓ Sun J2SE JRE 1.4.2_16 が OXS と共にインストールされます。 ただし、Windows Server 2003 x64 Edition 向けは JRE 1.5.0_16 for Windows x64 です。 ● IM-X Server の項目で以下の変更を行いました。 ※ OXS API for Java は、JRE1.4.1 以上で動作します。 ↓ ※ OXS API for Java は、JRE 1.4.2 以上で動作します。 ※ OXS API for Windows を使用する場合は、JRE1.4.1 以上が必要です。 ↓ ※ OXS API for Windows を使用する場合は、JRE 1.4.2 以上が必要です。 ● IM-X Designer の「OS」で以下の変更を行いました。 Windows Vista Business Windows Server 2003 Standard/Enterprise Edition Windows XP Home Edition/Professional (SP1, SP2) ↓ Windows Vista Business (SP1) Windows Server 2003 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2) Windows XP Home Edition/Professional (SP1/SP2/SP3) ● 「4.4 IM-X Server Management Service」を追加しました。
2009/03/05	<p>第6版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1.はじめに」で、以下を追加しました。 既に IM-X Server 5.0.4 が動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ● 「2.バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。

	<p>(1) IM-X Server 5.0.5 の更新内容</p> <p>OPRO X Server が 2.6.2.0 から 2.6.2.20 にバージョンアップしました。</p> <p>更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。</p>
<p>2009/06/18</p>	<p>第7版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1.はじめに」で、以下の変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> (8) 既に IM-X Server 5.0.4 が動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ↓ (8) 既に IM-X Server 5.0.4 ~ 5.0.5 のいずれかのバージョンが動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ● 「2.バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> (1) IM-X Server 5.0.6 の更新内容 OPRO X Server が 2.6.2.20 から 2.6.2.32 にバージョンアップしました。 更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。 ● IM-X Server の「動作確認済み OS」で、以下の変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・「Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1) (x86/x64)」を追加 ・「Windows Vista Business (SP1)」を「Windows Vista Business (SP1) (x86)」に変更 ・「Windows XP Professional (SP1/SP2/SP3)」を「Windows XP Professional (SP1/SP2/SP3) (x86)」に変更 ・「Windows 2000 Professional/Server/Advanced Server (SP4)」を「Windows 2000 Professional/Server/Advanced Server (SP4) (x86)」に変更 ・「Windows NT Workstation/Server 4.0 (SP6)」を削除 ● IM-X Designer の「OS」で、以下の変更を行いました。 <p>但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要です。</p> <p>↓</p> <p>但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要で、かつ、すべて x86 のみです。</p>
<p>2009/08/25</p>	<p>第8版</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「4.動作環境」で、以下の変更を行いました。 <p>intra-mart X Server V5.0.4 が動作するには、intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 6.x または Version 7.0 が必要です。</p> <p>↓</p> <p>intra-mart X Server V5.0.4 が動作するには、intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。(但し、IM-X Server Management Service に関しては、未対応となっております)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ● 「4.4 IM-X Server Management Service」で、以下を追加しました。 ※ 「IM-X Server/SAP 連携デモ」は、IM-ERP リアルコネクと連携したデモンストレーションとなっております。IM-ERP リアルコネク Ver.7.0 は現在、intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.1 には対応しておりませんので、ご利用いただくことはできません。
2009/10/26	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下の変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> (8) 既に IM-X Server 5.0.4 ~ 5.0.5 のいずれかのバージョンが動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ↓ (8) 既に IM-X Server 5.0.4 ~ 5.0.6 のいずれかのバージョンが動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> (1) IM-X Server 5.0.7 の更新内容 <p>OPRO X Server が 2.6.2.32 から 2.6.2.40 にバージョンアップしました。</p> <p>更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。</p> ● 「4. 動作環境」で、以下を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ※ IM-X Server SOAP Interface は、IWP/AFW Ver.7.x の環境で 動作確認を行っています。 ※ OXS は、標準の Java 実行環境として Sun J2SE JRE 1.4.2_16 を使用します (Windows Server 2003/2008 x64 Edition 向けは JRE 1.5.0_16 for Windows x64)。また、標準の XSLT プロセッサとしては Apache Xalan-Java Version 2.7.0 を使用します。Java 実行環境、XSLT プロセッサの両方またはいずれか一方を、以下のものに变更して使用することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Java 実行環境 : Sun Java SE JRE 6 ・ XSLT プロセッサ : XT (http://www.blzn.com/xt) <p>これらに变更した場合でも、標準のものを使用している場合と同様に、OXS は製品保守の対象となります。</p> ● 「4. 動作環境」で、以下の変更を行いました。 <p>intra-mart X Server V5.0.4 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。(但し、IM-X Server Management Service に関しては、未対応となっております)</p>

	<p>↓</p> <p>intra-mart X Server V5.0.7 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。(但し、IM-X Server Management Service に関しては、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x は未対応となっております)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「4.4 IM-X Server Management Service」で、以下の変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 「IM-X Server/SAP 連携デモ」は、IM-ERP リアルコネクと連携したデモンストレーションとなっております。IM-ERP リアルコネク Ver.7.0 は現在、intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.1 には対応しておりませんので、ご利用いただくことはできません。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 「IM-X Server/SAP 連携デモ」は、IM-ERP リアルコネクと連携したデモンストレーションとなっております。ご利用いただくには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.x および IM-ERP リアルコネク Ver.7.1 が必要になります。
2010/01/21	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下の変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> (8) 既に IM-X Server 5.0.4 ~ 5.0.6 のいずれかのバージョンが動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> (8) 既に IM-X Server 5.0.4 ~ 5.0.7 のいずれかのバージョンが動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> (1) IM-X Server 5.0.8 の更新内容 <p>OPRO X Server が 2.6.2.40 から 2.6.2.45 にバージョンアップしました。</p> <p>更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「4. 動作環境」で、以下の変更を行いました。 <p>intra-mart X Server V5.0.7 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。</p> <p>↓</p> <p>intra-mart X Server V5.0.8 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。</p>
2010/03/30	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下を削除しました。 <ul style="list-style-type: none"> (8) 既に IM-X Server 5.0.4 ~ 5.0.7 のいずれかのバージョンが動作している環境の場合は、パッチを上書きして適用することができます。

- 「1. はじめに」で、以下を変更しました。
 - (7) 既に IM-X Server 5.0.0 ~ 5.0.3 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、上書きインストールではなく、新規インストールを行ってください。
 - ↓
 - (7) 既に IM-X Server 5.0.0 ~ 5.0.8 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、上書きインストールではなく、新規インストールを行ってください。

 - 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。
 - (1) IM-X Server 5.0.9 の更新内容OPRO X Server が 2.6.2.45 から 2.7.0.0 にバージョンアップしました。
更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。

 - 「3. ドキュメントリスト」で、以下を変更しました。
 - (3) デザイナー ファーストステップ (PDF)CD 内の、docs/OXD-FirstStep.pdf です。また、リファレンス・マニュアル「OPRO X Designer ファーストステップ (PDF)」からもアクセスできます。
 - ↓
 - (3) デザイナー ファーストステップ (PDF)
- CD 内の、docs/01_oxd_firststep.pdf です。また、リファレンス・マニュアル「OPRO X Designer ファーストステップ (PDF)」からもアクセスできます。
-
- (4) CGI / サーブレット パラメータリスト (HTML)
- CD 内の、docs/parameter_list_ja_2.6.html です。また、リファレンス・マニュアルからもアクセスできます。
- ↓
- (4) CGI / サーブレット パラメータリスト (HTML)
- CD 内の、docs/parameter_list_ja.html です。また、リファレンス・マニュアルからもアクセスできます。
-
- 「4. 動作環境」で、以下を変更しました。
 - intra-mart X Server V5.0.8 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。
 - ↓
 - intra-mart X Server V5.0.9 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。

- 「4. 動作環境」 「4.1 IM-X Server」で、以下を変更しました。

Sun J2SE JRE 1.4.2_16 が OXS と共にインストールされます。

ただし、Windows Server 2003 x64 Edition 向けは

JRE 1.5.0_16 for Windows x64 です。

↓

JRE 6 以上

(Sun Java SE JRE 6u18 が OXS と共にインストールされます。)

UltraSPARC-IIi(UltraSPARC5)以上が必要

POWER3-II 375 MHz 以上が必要

Intel PentiumIII 600 MHz 相当以上が必要

↓

Intel Pentium 4, 1.0 GHz 相当以上

120 MB 以上の空き容量

↓

200 MB 以上の空き容量

※ OXS は、標準の Java 実行環境として Sun Java SE JRE 6u18 を使用します。また、標準の XSLT プロセッサとしては Apache Xalan-Java Version 2.7.0 を使用します。Java 実行環境、XSLT プロセッサの両方またはいずれか一方を、以下のものに変更して使用することができます。

・ Java 実行環境 : Sun Java SE JRE 6

・ XSLT プロセッサ : XT (<http://www.blzn.com/xt>)

これらを変更した場合でも、標準のものを使用している場合と同様に、OXS は製品保守の対象となります。

↓

※ 標準の XSLT プロセッサとして Apache Xalan を使用します。これを、XT (<http://www.blzn.com/xt>)に変更して使用することができます。

変更した場合でも、標準のものを使用している場合と同様に、OXS は製品保守の対象となります。

- 「4. 動作環境」 「4.1 IM-X Server」で、以下を追加しました。

※ JRE 6 以上が動作する環境がサポート対象となります。動作実績のある OS は、以下のようなものがあります。

Windows 7 Professional (x86)

(OXS 2.7.0 から追加された Chart コンポーネントを使用してグラフを表示する場合

	<p>は、GUI 環境は必要ありませんが、server.sh で、OXS 起動オプションとして「-Djava.awt.headless=true」を追加する必要があります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「4. 動作環境」 「4.1 IM-X Server」で、以下を削除しました。 Windows 2000 Professional/Server/Advanced Server (SP4) (x86) Red Hat Enterprise Linux 3/4 Red Hat Linux 6.2/7.2 Miracle Linux Standard Edition V2.0/V2.1B (Kernel version 2.2.14 or higher, egcs-2.91.66) IBM AIX 4.3.3/5L HP-UX 11i ● 「4. 動作環境」 「4.2 IM-X Designer」で、以下を追加しました。 Windows 7 Professional (x86) Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1) (x86/x64) ● 「4. 動作環境」 「4.2 IM-X Designer」で、以下を変更しました。 但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要です。 ↓ 但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要で、かつ、すべて x86 のみです。 インストールには 90 MB 以上の空き容量が必要 ↓ インストールには 40 MB 以上の空き容量が必要 ● 「4. 動作環境」 「4.3 クライアント環境」で、以下を変更しました。 Internet Explorer 5、6、7 ↓ Internet Explorer 5、6、7、8
2010/10/29	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下を追加しました。 (8) 既に IM-X Server 5.0.9 が動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 (1) IM-X Server 5.0.10 の更新内容 OPRO X Server が 2.7.0.0 から 2.7.0.8 にバージョンアップしました。 更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 「4. 動作環境」で、以下を変更しました。 intra-mart X Server V5.0.9 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。 ↓ intra-mart X Server V5.0.10 が動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。 ● 「4.1 IM-X Server」の「動作確認済み OS」で、以下を変更しました。 Windows 7 Professional (x86) ↓ Windows 7 Professional (x86/x64) Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1) (x86/x64) ↓ Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2) (x86/x64) Windows Vista Business (SP1) (x86) ↓ Windows Vista Business (SP1/SP2) (x86) ● 「4.2 IM-X Designer」の「OS」で、以下を変更しました。 但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要で、かつ、すべて x86 のみです。 ↓ 但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要です。すべて x86 向けですが、x64 でも 32-bit モードで使用できます。
2012/04/25	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下を変更しました。 (8) 既に IM-X Server 5.0.9 が動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ↓ (8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.10 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 (1) IM-X Server 5.0.11 の更新内容 OPRO X Server が 2.7.0.8 から 2.7.0.15 にバージョンアップしました。 更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴

をご参照ください。

- 「4. 動作環境」で、以下を変更しました。

intra-mart X Server V5.0.10 が動作するには、intra-mart
WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。

↓

intra-mart X Server V5.0.11 が動作するには、intra-mart
WebPlatform/AppFramework Version 6.x または Version 7.x が必要です。

- 「4.1 IM-X Server」の「Java 実行環境」で、以下を変更しました。

Sun Java SE JRE 6u18 が OXS と共にインストールされます。

↓

Oracle Java SE JRE 6 が OXS と共にインストールされます。

- 「4.1 IM-X Server」の「動作確認済み OS」で、以下を変更しました。

Windows 7 Professional (x86)

↓

Windows 7 Professional (SP1) (x86/x64)

Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1) (x86/x64)

↓

Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2) (x86/x64)

Windows Vista Business (SP1) (x86)

↓

Windows Vista Business (SP1/SP2) (x86)

- 「4.2 IM-X Designer」の「OS」で、以下を変更しました。

Windows 7 Professional (x86)

↓

Windows 7 Professional (SP1)

Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1) (x86/x64)

↓

Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition (SP1/SP2/R2)

Windows Vista Business (SP1)

↓

Windows Vista Business (SP1/SP2)

	<p>但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要で、かつ、すべて x86 のみです。</p> <p>↓</p> <p>但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要です。すべて x86 向けですが、x64 でも 32-bit モードで使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「5 著作権および特記事項」を修正しました。
2013/02/01	<ul style="list-style-type: none"> ● 「4. 動作環境」に intra-mart Accel Platform を追加しました。 ● SAP 連携のデモファイル (oxsms-sap-demo.zip) は削除されました。
2013/04/05	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下を変更しました。 <p>(8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.10 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。</p> <p>↓</p> <p>(8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.11 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。</p> ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 <p>(1) IM-X Server 5.0.12 の更新内容</p> <p>OPRO X Server が 2.7.0.15 から 2.7.0.17 にバージョンアップしました。</p> <p>更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。</p> ● 「4. 動作環境」で、以下を変更しました。 <p>intra-mart X Server V5.0.11 が動作するには、下記が必要です。</p> <p>↓</p> <p>intra-mart X Server V5.0.12 が動作するには、下記が必要です。</p>
2013/11/29	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下を変更しました。 <p>(8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.11 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。</p> <p>↓</p> <p>(8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.12 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。</p> ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 <p>(1) IM-X Server 5.0.12 の更新内容</p>

	<p>OPRO X Server が 2.7.0.17 から 2.7.0.19 にバージョンアップしました。 更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「4. 動作環境」で、以下を追加しました。 Windows 8.1 Pro (x64) Windows 8 Pro (x64) Windows Server 2012 Standard (x64)
2014/05/23	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下を変更しました。 (8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.12 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ↓ (8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.13 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 (1) IM-X Server 5.0.14 の更新内容 OPRO X Server が 2.7.0.19 から 2.7.0.21 にバージョンアップしました。 更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。
2015/01/08	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. はじめに」で、以下を変更しました。 (7) 既に IM-X Server 5.0.0 ~ 5.0.8 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、上書きインストールではなく、新規インストールを行ってください。新規インストールの手順については「3. ドキュメントリスト」にあるリファレンス・マニュアルをご参照ください。 (8) 既に IM-X Server 5.0.9 ~ 5.0.13 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、パッチを上書きして適用することができます。手順については、パッチに付属している readme をご参照ください。 ↓ (7) 既に IM-X Server 5.0.0 ~ 5.0.14 のいずれかのバージョンが動作している環境にインストールする場合は、上書きインストールではなく、新規インストールを行ってください。新規インストールの手順については「3. ドキュメントリスト」にあるユーザーガイド・リファレンスをご参照ください。 ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 (1) IM-X Server 5.1.0 の更新内容

OPRO X Server が 2.7.0.21 から 2.7.4.1 にバージョンアップしました。CD の構成を変更しました。

更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。

- 「3. ドキュメントリスト」で、以下を変更しました。

(1) 製品マニュアル (PDF)

CD 内の、各製品名のフォルダ以下「manual」にあります。

(2) リファレンス・マニュアル (HTML)

CD の最上層にある manual.html です。セットアップ等の際にご参照ください。

(3) デザイン ファーストステップ (PDF)

CD 内の、docs/01_oxd_firststep.pdf です。また、リファレンス・マニュアル「OPRO X Designer ファーストステップ (PDF)」からもアクセスできます。

(4) CGI / サブレット パラメータリスト (HTML)

CD 内の、docs/parameter_list_ja.html です。また、リファレンス・マニュアルからもアクセスできます。

(5) JavaAPI ドキュメント

CD 内の、docs/api/java/doc_jp/index.html です。また、リファレンス・マニュアルからもアクセスできます。

↓

(1) OXS ユーザーガイド・リファレンス (HTML)

CD の最上層にある userguide.html です。セットアップ等の際にご参照ください。

(2) OXD/OXB ユーザーガイド・ヘルプ (PDF, CHM)

CD 内の、各製品名のフォルダ以下「manual」にあります。

(3) デザイナーファーストステップ (PDF)

CD 内の、userguide/01_oxd_firststep.pdf です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。

(4) CGI / サブレット パラメーターリスト (HTML)

CD 内の、reference/parameter_list_ja.html です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。

(5) Java API ドキュメント

CD 内の、reference/api/java/doc_jp/index.html です。また、OXS ユーザーガイド・リファレンスからもアクセスできます。

- 「4.1 IM-X Server」の「動作確認済み OS」から「Windows XP Professional (SP1/SP2/SP3) (x86)、Solaris 8/9」を削除しました。
- 「4.1 IM-X Server」の「検証済みデータベース」を「PostgreSQL 7.2-9.0、SQL Server 2005-2012」に変更しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 「4.1 IM-X Server」で、以下を変更しました。 ※CGI は、Windows(x86/32bit)、Linux(x86/32bit)、Solaris(SPARC/32bit)プラットフォームに対応しています。Linux(x86/32bit)、Solaris(SPARC/32bit)では、"libstdc++.so.2.10.0" および "libstdc++.a.2.10.0" をシステムに適用する必要があります。これらは GNU C コンパイラ(例えば gcc 2.95.1) にあります。 ↓ ※CGI は、Windows プラットフォームのみに対応しています。 ● 「4.1 IM-X Server」で、以下を削除しました。 ※ 標準の XSLT プロセッサとして Apache Xalan を使用します。これを、XT (http://www.blnz.com/xt)に変更して使用することができます。 変更した場合でも、標準のものを使用している場合と同様に、OXs は製品保守の対象となります。 ● 「4.2 IM-X Designer」の「動作確認済み OS」から「Windows 2000 Professional/Server (SP4) 但し、Internet Explorer 5.5 以上が必要です。」を削除しました。 ● 「4.3 クライアント環境」の「動作検証済みウェブブラウザ」に「Chrome 38、39」を追加し、「Netscape 7.1」を削除して、他のブラウザについても、最近のバージョンのみに変更しました。
2016/05/20	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2. バージョンアップ内容」で、以下を追加しました。 (1) IM-X Server 5.1.2 の更新内容 OPRO X Server が 2.7.4.2 から 2.7.4.3 にバージョンアップしました。 更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。 (2) IM-X Server 5.1.1 の更新内容 OPRO X Server が 2.7.4.1 から 2.7.4.2 にバージョンアップしました。 更新内容の詳細については「3. ドキュメントリスト」にあるソフトウェアの更新履歴をご参照ください。 ● 「4. 動作環境」で、以下を追加しました。 Windows 10 Pro (x64)